

第2回

「明日の学力」診断

問題例

小学3年～6年／中学1年～2年

★「明日の学力」診断では、「知識・思考力・判断力・表現力」を測ります。

「明日の学力」診断での「思考力・判断力・表現力」の定義

思考力とは

知識や与えられた情報をもとに、一般的な解釈や分析などにより、内容を理解する力

判断力とは

情報から自分の考えで仮説や推論を立て、解法などを選択・評価して問題を解決する力

表現力とは

思考力・判断力を踏まえ、相手にわかる形で構成し、伝える力

思考力

判断力

表現力

● **【例】の方法を参考にして、文章題を作ってみること！**

【例】には、かけ算の式を使った文章題が記されています。この【例】を参考にして、「問題の意味を理解する力」＝思考力、「割り算の式を使った問題を設定する力」＝判断力、「わかりやすい問題を書く力」＝表現力を診断します。

69 ÷ 7 = 9 あまり6 の式を使って、答えが6本になる問題を作りたいと思います。【例】を参考^{れい}にして、問題^{さんこう}を作ってみましょう。

【例】

《式と答え》

6 × 7 = 42 の式を使って、答えが42こになる問題を作ります。

《問題》

リンゴが6こずつ入ったふくろが7つあります。リンゴはぜんぶで何こありますか。

《式と答え》

69 ÷ 7 = 9 あまり6 の式を使って、答えが6本になる問題を作ります。

《問題（この下にあなたが作った問題を書きましょう。）》

解答例

69本のひもがあります。7本で1組にして分けたとき、何本かあまりました。何本あまったでしょうか。